

2007年 シッチェス映画祭4部門受賞作品

最優秀ファンタスティック映画賞

最優秀ヨーロッパ映画賞

市民ケーン(新人監督賞)

最優秀メイクアップFX賞

2007年 カンヌ映画祭批評家週間正式出品作品

2007年 トロント映画祭ミッドナイト部門正式出品作品

2007年 スクリーンフェスト映画祭正式出品作品

この女、凶暴につき。

A L'INTÉRIEUR

屋敷女

ベアトリス・ダル アリソン・パラディ

監督:ジュリアン・モーリー・アレクサンドル・バスティロ 脚本:アレクサンドル・バスティロ 提供:キングレコード、トルネード・フィルム 配給:トルネード・フィルム

LA FABRIQUE DE FILMS PRESENTE A L'INTERIEUR - UNE PRODUCTION DE VERANE FREDJANI ET FRANCK RIBHERE EN COPRODUCTION ASSOCIEE AVEC BR FILMS AVEC BEATRICE DALLE ALYSSON PARADIS
NICOLAS DUVAUCHELLE FRANCOIS REGIS MARCHASSON NATHALIE ROUSSEL AYMEN SAIDI - COSTUMES MARTINE RAPIN DECORS MARC THIEBAULT SON JACQUES SANS PREMIER ASSISTANT REALISATEUR
LEONARD GUILLAIN DIRECTEUR DE PRODUCTION JEAN-FRANCOIS CHAINTRON EFFETS SPECIAUX JACQUES-OLIVIER MOLON EFFETS VISUELS BR FILMS - RODOLPHE GUGLIelmi MONTAGE BAXTER DIRECTEUR DE LA
PHOTOGRAPHIE LAURENT BARES - MUSIQUE ORIGINALE DE FRANCOIS-EUDES CHANFRAULT SCENARIO, ADAPTATION ET DIALOGUES DE ALEXANDRE BUSTILLO UN FILM DE JULIEN MAURY ET ALEXANDRE BUSTILLO
- AVEC LA PARTICIPATION DE CANAL + ET GINECINEMA EN ASSOCIATION AVEC COPINOVA 3 SOPICINEMA 3 ET UNI ETOILE 4 -
AVEC LA PARTICIPATION DU CENTRE NATIONAL DE LA CINEMATOGRAPHIE VENTES INTERNATIONALES - DREAMACHINE - © 2007 LA FABRIQUE DE FILMS - BR FILMS



フランス映画史上、最も哀しい狂気の物語 彼女はただひたすらに、愛を求めただけだった



私が捧げるのは、無償の愛—— 痛いほどに狂おしく、 悲しい夜に残酷の雨が降りそそぐ

『サイレント・ヒル』のクリストフ・ガンズ、『ハイテンション』『ヒルズ・ハブ・アイズ』のアレクサンドル・アジャ、『THEM ゼム』、リメイク版『THE EYE【アイ】』のダヴィド・モロー&ザヴィエ・バリユ、そして『変態村』のファヴリス・ドゥ・ヴェルツ…いま、フランスは世界が注目する過激なバイオレンス・ショッカーの傑作とその才能の震源地となっている。そのフランスからこのジャンルの最終兵器ともいえる衝撃作がやってきた。『屋敷女』、それは血と暴力に満ちた、おぞましくも美しいユーロ・スリラーの最高峰である。監督はすでにハリウッドに招かれ、リメイク版『ヘルレイザー』を製作中の元人気ホラー映画専門誌“マッド・ムービーズ”の映画記者アレクサンドル・バスティロと新進気鋭の映像作家ジュリアン・モーリーのコンビ。いまだかつて誰も描くことのできなかつた壮絶なる恐怖と戦慄、映画史上最も邪悪な禁断の映像を見逃すな!

鮮血と絶叫のクリスマス・イブ! 悲劇の妊婦を襲った突然の恐怖!!

クリスマス・イブの真夜中、出産を翌日に控えた妊婦サラは、見知らぬ女の訪問を受ける。

不審に思った彼女は相手を追い返そうとしたが、女の態度は強硬となり、ついには裏口の窓を破って侵入しようとする。危険を感じたサラは警察を呼び、女は姿を消した。しかし、警察が帰り、サラが床についたとき、彼女は黒い服を着た長い髪の女がすでに家の中に侵入していたことを知る。女は大きなハサミを手に、ものすごい形相でサラに襲いかかる。女は何者なのか? 女の目的は一体何なのか? 信じられない衝撃と理不尽な恐怖に包まれたサラをさらに陣痛が襲う。サラの人生最悪の夜は、まだ始まったばかりだった…。

『ベティ・ブルー』のベアトリス・ダルが魅せる 映画史上最凶の女殺人鬼“屋敷女”とは!?

『ハロウィン』シリーズのマイケル・マイヤーズや『13日の金曜日』のジェイソンを超えた映画史上最凶の女殺人鬼“屋敷女”をパワフルに怪演するのは、『ベティ・ブルー/愛と激情の日々』で世界に衝撃を与えて以来、数々の作品で強烈な個性を発揮してきたベアトリス・ダル。間違いなくこれは彼女の新たな代表作となる1本である。“屋敷女”に襲われる悲劇の妊婦サラを演じる、フランス期待の新星アリソン・バラディ(バネッサ・バラディの妹)体当たりの熱演も見逃せない!

Girls ♥ GORE TOO A L'INTERIEUR 屋敷女



CAUTION 警告! 心臓の弱い方、妊娠中の方は鑑賞をご遠慮下さい。

監督:ジュリアン・モーリー&アレクサンドル・バスティロ/脚本:アレクサンドル・バスティロ/撮影監督:ローラン・バレ/編集:バクスター/音楽:フランソワ・ワード/衣装デザイン:マルティーン・ラバン/特殊効果、特殊メイクアーティスト:ジャッキー・モロシ/出演:ベアトリス・ダル アリソン・バラディ / ナタリー・ルセル フランソワーズ・レグズ・マルシャン ニコラ・デュヴォルシュール ルドヴィック・ベルシロー エーマン・サイディ エマニュエル・レンツィ 2007/フランス/35mm/カラー/ヴィスタサイズ/ドルビーSR/1時間23分/原簿:A L'INTERIEUR ©2007 LA FABRIQUE DE FILMS- BR FILMS 提供:キングレコード・トルネード・フィルム/配給:トルネード・フィルム 詳細:www.yashiki-onna.com

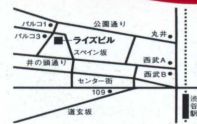


6/21(土)“屋敷女”暴走開始

特別鑑賞券 ¥1500(税込) 絶賛発売中! [当日一般 ¥1800(税込)の処]

●劇場にて特別鑑賞券をお求めの方には、屋敷女ベアトリスの凶暴ポストカードプレゼント! (限定数)

*web券販売の販売を上映の1週間前より開始します。料金は、1600円(当日一般1800円)均一。詳細はシネマライズHPをご覧ください。*座席指定の鑑賞券は上映1週間前よりご購入、またはお引き換え頂けます。



ライズ X

渋谷公園通りバルコ3前ライズビル
03-3464-8555 www.cinemarise.com
全席指定・定員入替制

12:30 14:20 16:10 18:00 19:50